2460億を投資

国内エネ事業に500億

大阪ガス経営計画

大阪ガスは、2019年度のグループ経営計画を策定した。『中期経営計画2020』の3年目として成長投資を推進するとともに、さまざまな付加価値サービスを組み合わせた提案を進化させ、19年度は連結売上高1兆4260億円、営業利益910億円、経常利益810億円、当期利益550億円を見込む。

18年度の見込み額は売上高1兆3810億円、営業利益630億円、経常利益615億円、当期利益305億円となっており、増収増益の計画

投資計画では、連結で2460億円の投資を予定しており、内訳は既存事業の品質向上投資が660億円、成長投資が1800億円。この成長投資は国内エネルギー事業が500億円、海外エネルギー事業が870億円、ライフ&ビジネスソリューション事業が430億円となっている。

導管ネットワーク事業者として、経年化対策や防災対策、ど将来の供給安定性向上を見据えた設備形成の推進、コスト削減に向けた技術開発に努める。

また、18年の大阪府北部地震や西日本豪雨などでガス供給の停止などを行ったことを踏まえ、被害や影響範囲の最小化、復旧早期化につながる防災対策の強化、地震発生時のガス供給停止基準の見直し、分散型エネルギーシステ

む。

収益貢献が拡大している海外事業は、事業基盤を強化して収益の柱として成長させる。北米IPP事業を推進し、フリーポートLNG（液化天然ガス）基地の商業運転を開始するほか、事業関与可能な案件、再生可能エネルギー案件に参画し、基地コンサル受注などエンジニアリング事業の強化を図る。

約化で発生する余剰地の活用も含めて検討を進めている。

いずれも築60年以上が経過しており、住民から早期建て替えが熱望されているが、府は京都スタジアムなど大型プロジェクトが進行中で財政面の不安があるため、慎重に協議を重ねている。

17年度に市浦ハウジング&プランニングに委託して実施した民活導入可能性調査の結

「これからを考える」シリーズ初弾

JIA近畿、協賛は総合資格学院

古谷氏（右）と小堀氏のトークセッション

古谷氏 意図を超えた使い方に醍醐味
小堀氏 対話基本に「KDKH」の設計

日本建築家協会近畿支部（JIA近畿、井上久実支部長）は9日、大阪市の大光電機ライティングコア大阪で「これからを考える」シリーズのセミナーを開き、会員ら約100人が参加した。総合資格学院が協賛した。

同シリーズは、社会における建築家の必要性とその職能がどうあるべきかを考える場として企画したもの。

第1回となる今回は「市民は建築家に何を求めているか」をテーマに、日本建築学会の会長を務める古谷誠章早稲田大教授と小堀哲夫氏（小堀哲夫建築設計事務所）が対話を基本としたそれぞれの設計手法を紹介した。

井上支部長

冒頭、井上支部長は「情報化社会で世の中が変貌する中、建築家の役割も変わりつつある。JIAはこの社会の変化をつかみ、新たなニーズを見つけていかなければならない」とあいさつした。

続いて、古谷教授は「アンパンマンミュージアム」（高知県香美市）や「小布施町立図書館まちとしょテラソ」（長野県小布施町）などの自作を紹介しながら「建築家の役割とは、その場所に潜在するリソースを生かして、住民と協働すること」と述べ、ワークショップを中心とした地元住民との意見交換による設計手法を説明。「利用者は、設計者の意図を超えた使い方を発見する。それが建築の醍醐味（だいごみ）だ」と話した。

自身の設計手法を「空間、道具、活動、人を同時にデザインする『KDKH』」と言う小堀氏もワークショップや利用者のインタビューなどの対話を設計の基本としており、「空間を提案すれば、使い方のアイデアが出てくる。KDKHの要素は4WDのタイヤのようにリンクしている」と話した。

また、「NICCA イノベーションセンター」（福井市）などの自作を事例に挙げながら「いろいろな要望が詰め込まれて〝とっちらかっている〟方が、ダイナミックな良い設計だと思う」と述べた。

その後、畑友洋氏（畑友洋建築設計事務所）がモデレーターを務め、トークセッションした。

小堀氏は「ワークショップは施主や利用者との信頼関係構築の場。建築家の能力を発揮して求められる以上の提案をはじめに出し、たくさんの意見をもらうことが大切だ」と語った。古谷教授は「建築家は、利用者や施主と同じ場所に立たなければならない。コミュニケーション力とは、目の前の人の話を聞き、なぜそんなことを話すのか理解できる能力。これは電子メールではできない」と話した。

畑氏は「2人の取り組みは原始的で効率が悪いかもしれないが、非常に重要なこと。人の意見を読み解くのも建築家の能力と言える。そういう意味では、今回のテーマである『何を求められているか』より『何に応えられているか』の方が重要に思える」と締めくくった。

日本シビッ

整備局
伸部

近畿地方整備
務所は、「淀川
地下鉄横断部他
計業務」を簡易
ーザルした結果
クコンサルタン
8日に2820
で契約した。

業務内容は淀
部の鶴見地区に
横断部と換気設

責任と自覚もちステップアップ

日建学院和
建築士など

日建学院和歌
1・2級建築士
を対象とした祝
山市のルミエー